

赤平市の家計

3月開会の赤平市議会第1回定例会において
平成23年度の各会計予算が可決されました。

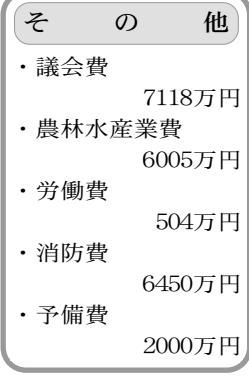
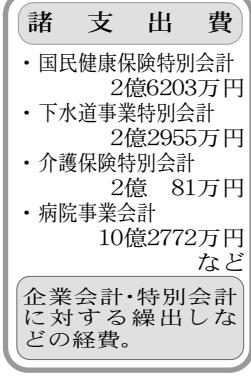
会計区分	23年度予算額	22年度予算額	前年度比
一般会計	83億2056万円	87億1371万円	△ 4.5%
国民健康保険特別会計	20億7986万円	22億7073万円	△ 8.4%
老人保健特別会計	廃止	55万円	皆減
後期高齢者医療特別会計	2億2899万円	2億3865万円	△ 4.1%
土地造成事業特別会計	17万円	17万円	0.0%
下水道事業特別会計	6億6808万円	6億7475万円	△ 1.0%
靈園特別会計	1248万円	427万円	192.4%
用地取得特別会計	4681万円	4681万円	0.0%
介護サービス事業特別会計	1億9129万円	1億8397万円	4.0%
介護保険特別会計	13億1960万円	12億6672万円	4.2%
水道事業（企業）会計	4億6166万円	4億6162万円	0.0%
病院事業（企業）会計	23億2934万円	28億4837万円	△ 18.2%
合計	156億5884万円	167億1032万円	△ 6.3%

一般会計性質別予算

性質別区分	23年度予算額	22年度予算額	増減率
人件費	13億3581万円	16億4197万円	△ 18.6
物件費	8億3283万円	8億 815万円	3.1
補助費等	15億1087万円	14億5671万円	3.7
扶助費	16億9080万円	16億4948万円	2.5
普通建設事業費	7億 343万円	10億7326万円	△ 34.5
維持補修費	2億9817万円	2億7935万円	6.7
公債費	9億2615万円	9億 645万円	2.2
積立金	360万円	360万円	0.0
投資及び出資金	1億5671万円	1億4905万円	5.1
貸付金	3487万円	3470万円	0.5
繰出金	8億 732万円	6億9099万円	16.8
予備費	2000万円	2000万円	0.0
合計	83億2056万円	87億1371万円	△ 4.5

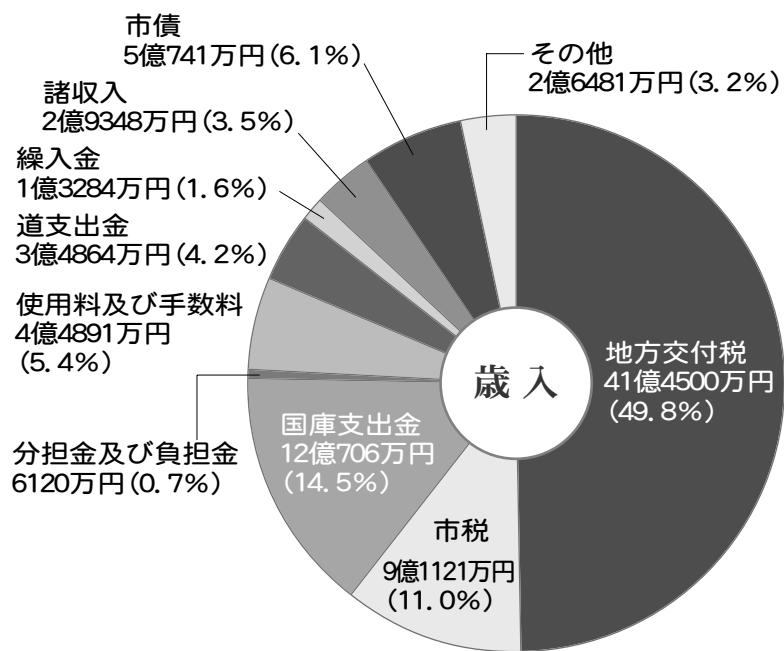
人件費は、退職手当組合への負担金（清算分）の減などにより対前年度比18.6%の減、普通建設事業費は、市民プール新設事業の終了や骨格予算の影響もあり34.5%の減となっています。繰出金は、おもに国民健康保険特別会計や下水道事業特別会計に対して増額となったことにより16.8%増加しています。

新年度の予算は、「赤平市財政健全化計画（改定版）」並びに「市立赤平総合病院経営健全化計画」を基本に編成し、一方では「第5次赤平市総合計画」に基づく諸施策を推進するための予算付けを行いました。また、年度当初に市長選挙が実施されるため、義務的経費や継続して実施する建設事業を中心とした骨格予算として編成し、新規事業や政策的な判断を要する経費は6月以降の補正予算で対応することとしています。



歳入の主な内容

市税収入は、道内経済が依然として厳しい状況の中、個人所得の減少などで前年度予算をさらに下回る見込みとなり歳入に占める割合は11.0%、地方交付税は国勢調査人口の減少の影響などを加味し49.8%、普通交付税の振替措置である臨時財政対策債も含めると53.2%となっています。国庫支出金、ならびに市債は、普通建設事業の減少などによりそれぞれ14.5%、6.1%となっています。



一般会計予算の合計額 83億2056万円

歳出の主な内容

民生費は、生活保護世帯や障がい者に対する費用などにより歳出に占める割合は25.0%、職員給与費は14.9%、教育費は、学校施設耐震補強事業(茂尻小学校・豊里小学校)などにより5.8%となっています。諸支出金は、国民健康保険特別会計や病院事業会計に対する繰出金などにより22.6%となっています。

